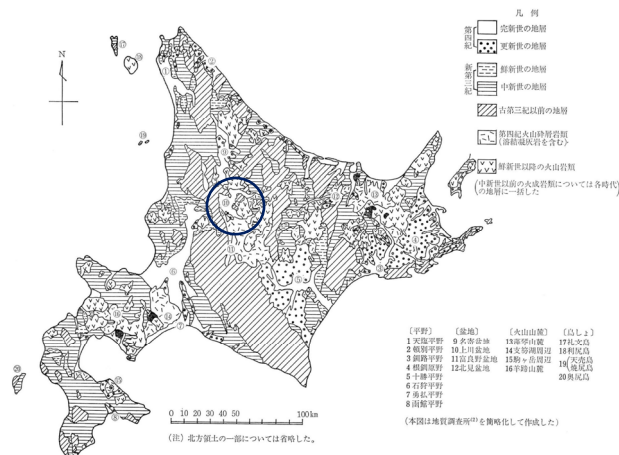


10.上川盆地

1.北海道地方



地形・地質

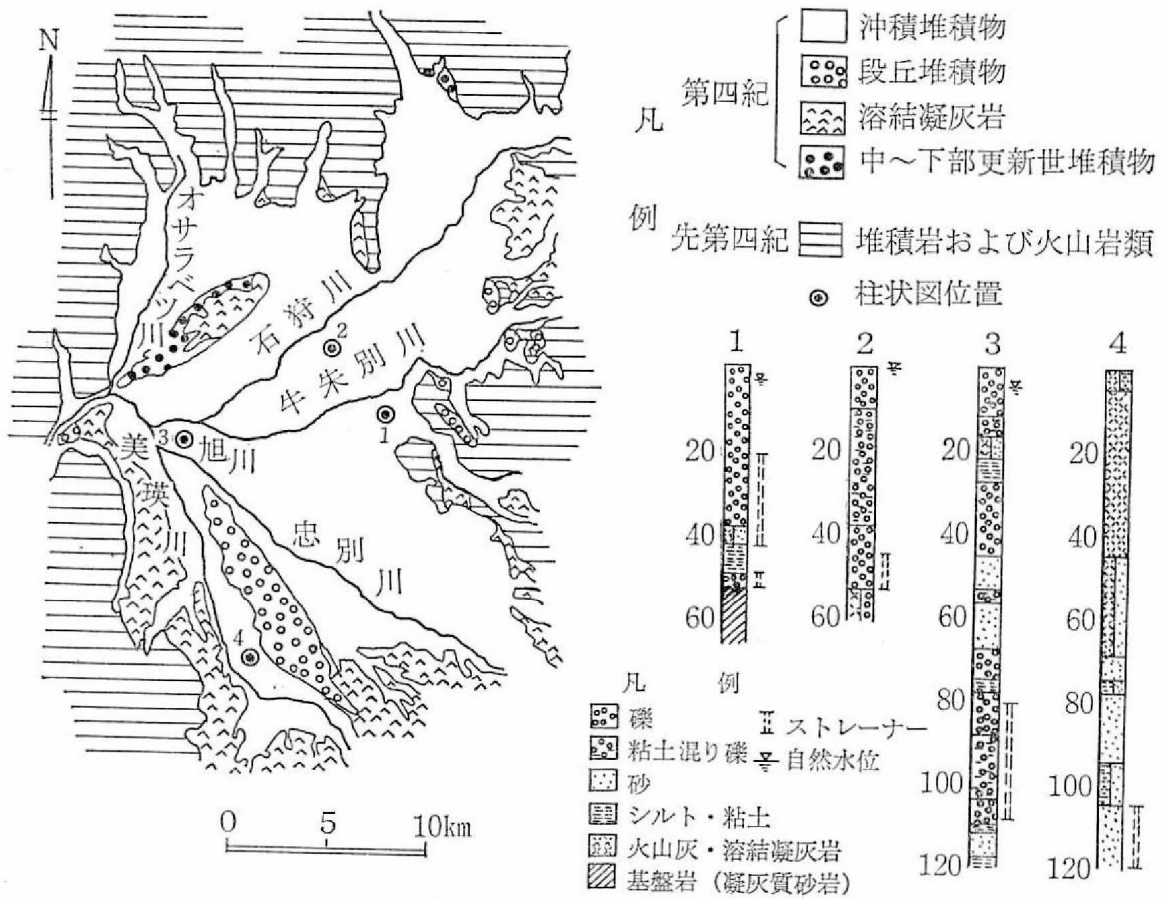
上川盆地は、北海道の中央部にある海拔 100~200m、広さ約 400km² の内陸盆地です。盆地へは石狩川、忠別川、美瑛川、オサラベツ川、牛朱別川などが流入し、これらは盆地の西端で石狩川に合流しています。

地下水

主要な帯水層は第四紀の堆積物で、盆地の中央部で 200m 近くあり、礫層が卓越している地域が多いです。このため、当盆地は縁辺部の一部を除いて、浅層、深層の地下水とも概して豊富で、旭川市街地を中心として相当数の深井戸が存在します。

上川盆地周辺の地層層序

時代	地層	岩相	
第四紀	完新世	現河床礫積物	砂礫, 砂
		湿地堆積物	泥炭, シルト, 粘土
	更新世	低位段丘堆積物	砂礫, 粘土
		溶結凝灰岩	
		中・下部更新統	礫, 砂, 粘土
	下部更新統	礫岩ほか	
先第四紀	先第四紀堆積岩類 先第四紀火成岩類		



上川盆地の地質図

出典 日本の地下水（農業用地下水研究グループ,1986）（一部加筆）

「日本の地下水」では全国の地下水盆の概要が紹介されています。各地下水盆の概要を紹介している頁と関連する論文等を、下記の Web ページで閲覧できます。

<http://www.jagh.jp/jp/g/activities/committee/research/gwdb.html>（日本地下水学会）